

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	保健体育 1	
科目基礎情報							
科目番号	101511			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	実技			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子制御工学科			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	アクティブスポーツ総合版 （大修館書店） 新 学生の健康科学 編者代表 山本浩貴（鈴木製本所）						
担当教員	今城 英二						
到達目標							
1.各運動種目の特性、ルールを理解すること 2.教材に用いた運動種目の技能を習得すること 3.健康に対する考え方を理解すること 4.各自の体力に応じ、自主的に運動する習慣を身につけること							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各種目の特性・ルールを理解し、ゲームをすることができる			各種目の特性・ルールを理解しているがゲームに結び付けることができない		各種目の特性・ルールを理解していない	
評価項目2	基礎的な技能を習得しゲームで表現することができる			基礎的な技能を習得しているが、ゲームであまり表現できない		基礎的な技能を習得できていない	
評価項目3	健康な生活に必要なことを理解し実践できる			健康な生活に必要なことを理解しているが実践に結び付かない		健康な生活に必要なことだと理解できない	
評価項目4	自己の体力を把握し、改善・向上に結び付け実践できる			自己の体力を把握しているが、改善・向上に結び付かない		自己の体力を把握できていない	
学科の到達目標項目との関係							
教養 (D)							
教育方法等							
概要	多くの教材に親しみ、ルールや基本的な技能の習得を目指す 仲間と協力しともに助け合い、高めあうことを目指す 体力養成において、柔軟性・全身持久力の向上に重点をおいている 健康安全に常に配慮できる力をつけさせる						
授業の進め方・方法	小集団（グループ・チーム）分けにより参加度の偏りがないよう配慮している 学生の健康科学（保健）の授業内容は講義形式で行う 新居浜高専スポーツデーでは授業3週分としてカウントする。						
注意点	実技の際は体操服（学校指定）・シューズ（体育館用、外用）及び水分を準備すること。 病気やけが等で実技を見学する場合は、事前に理由・状態を申し出ること 長期にわたる実技見学の場合は、担任を通じて申し出ること 実技の時は、特に体調を整えて出席すること 学生の健康科学（保健）は、教科書ノートを準備すること						
本科目の区分							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業の進め方の説明および諸注意 集合隊形作りと集団行動		1		
		2週	集団行動 班別発表会のメニュー選定と練習		1・2・4		
		3週	集団行動 班別発表会		2・4		
		4週	スポーツテスト		1		
		5週	スポーツテスト		1		
		6週	バレーボール 基礎的なパスとサーブの技術の習得とゲームを通してのルールの理解		1・2		
		7週	中間試験期間				
		8週	学生の健康科学（保健） スポーツ障害についての理解、予防法及び救急処置方法を学ぶ		3・4		
	2ndQ	9週	バレーボール 基礎的なパスとサーブの技術の習得とゲームを通してのルールの理解		1・2		
		10週	バレーボール 個のパス技術の向上とゲームを通して集団技能の習得		1・2		
		11週	バレーボール 個のパス技術の向上とゲームを通して集団技能の習得		1・2		
		12週	バレーボール 個のパス技術の向上とゲームを通して集団技能の習得		1・2		
		13週	バレーボール 実技試験		1・2		

後期		14週	運動と健康の科学 スポーツ障害についての理解、予防法および救急処置法を学ぶ	3・4
		15週	期末試験期間	
		16週		
	3rdQ	1週	陸上競技（短距離走） ウォーミングアップの方法と基本的な走り方の技術理解と習得 記録向上を目指す	1・2・4
		2週	バスケットボール ボールハンドリング・シュートの習得	1・2・4
		3週	サッカー・有酸素運動 有酸素運動についての理解と実践 サッカーの個人技能の習得	1・2・4
		4週	学生の健康科学（保健） 飲酒・喫煙が及ぼす影響を理解し、健康被害について学ぶ	3・4
		5週	サッカー・有酸素運動 有酸素運動についての理解 サッカーの個人技能の習得とゲームを通してのルール の理解	1・2・4
		6週	バスケットボール ボールハンドリング・シュートの習得、ゲームを通しての集団的 技能の習得とルールの理解 ゲームの進め方とルール理解および審判法の習得	1・2
		7週	中間試験期間	
		8週	バスケットボール ボールハンドリング・シュートの習得、ゲームを通しての集団的 技能の習得とルールの理解	1・2
	4thQ	9週	サッカー・有酸素運動 有酸素運動についての理解と実践 サッカーの個人技能の習得とゲームを通してのルール の理解	1・2・4
		10週	バスケットボール シュートの成功率向上、ゲームの進め方とルール理解 および審判法の習得	1・2
		11週	持久走タイムトライアル（12分間走）、サッカー 基本的なチームプレーの習得とゲームを通して審判法の 理解	1・2・4
		12週	バスケットボール シュート競争を通してスキルアップを目指す ゲーム	1・2
		13週	サッカー 実技試験	1・2
		14週	学生の健康科学（保健） 身体づくりと働きについて学ぶ	3・4
		15週	期末試験期間	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的 能力	態度・志向 性(人間力)	態度・志向 性	態度・志向 性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	

評価割合

	実技・試験	受講状況	保健内容の理解度	合計
--	-------	------	----------	----

総合評価割合	60	30	10	100
基礎的能力	60	10	0	70
専門的能力	0	0	10	10
分野横断的能力	0	20	0	20